

平成21年5月22日現在

研究種目：基盤研究 (B)
研究期間：2006～2009
課題番号：18320126
研究課題名 (和文) 吉備地域における巨大古墳形成過程の研究
研究課題名 (英文) Archaeological study on the formation process of gigantic tumuli in Kibi district, protohistoric Japan
研究代表者 松木 武彦
松木 武彦 (MATSUGI TAKEHIKO)
岡山大学・大学院社会文化科学研究科・准教授
研究者番号：50238995

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：考古学

キーワード：前方後円墳 古墳 古代吉備 国家形成 古代集落

1. 研究計画の概要

吉備地域における5世紀の大型前方後円墳群の形成過程を、築造順序の検討による古墳の造営プロセスだけではなく、それを支えた集落も含む社会像全体の減少として位置づける。

2. 研究の進捗状況

大型前方後円墳形成にいたる古墳の築造順序、内容などは、発掘調査や資料の整理を通じてほぼ明らかになった。現在は集落の変遷に関する基礎データを整理中である。

3. 現在までの達成度

大型前方後円墳を含む古墳の形成過程の復元作業が95%、集落の変遷に関する基礎データの整理が60%終了し、全体として約70%の達成度である。

4. 今後の研究の推進方策

今年度は最終年度であるので、古墳と集落に関する上記の作業を前半で完了させ、年度の後半では総括と報告書の刊行を行う予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 件)

[学会発表] (計 件)

[図書] (計1件)

岡山大学考古学研究室編『勝負砂古墳調査概報』学生社、2009年6月

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]